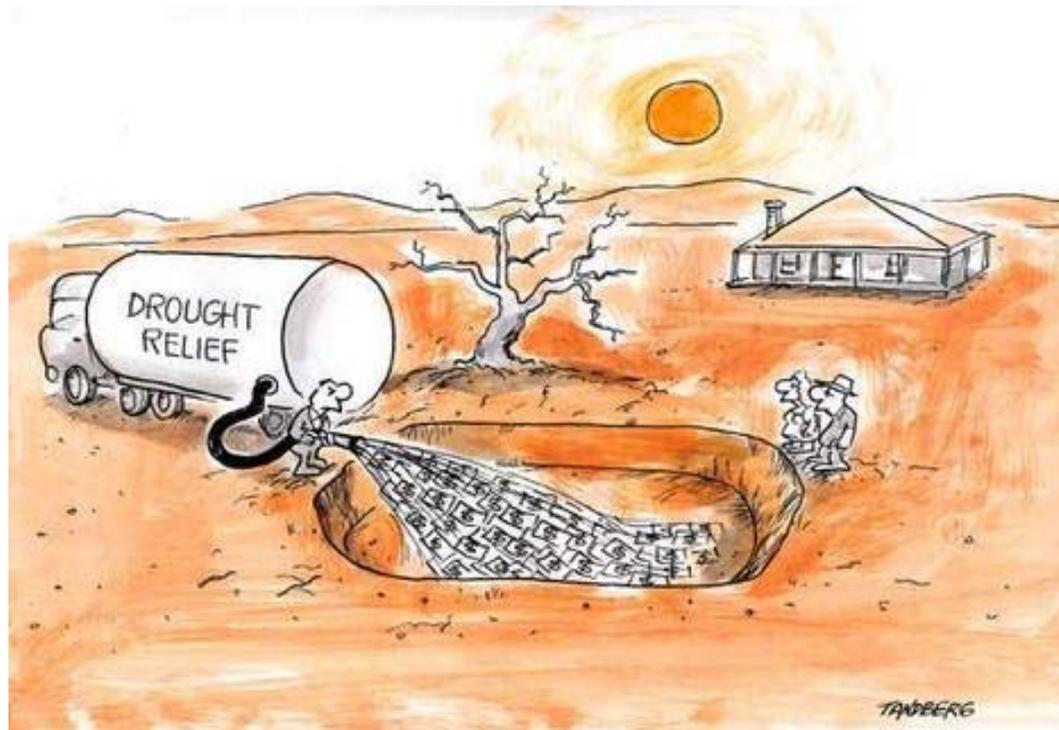


# 最新のサプライチェーン動向



2017年9月

CDP  
山口健一郎

---

# CDPについて

# CDPとは（ミッションとビジョン）

## CDPのミッション

- 事業・投資・政策判断において必要な情報を提供することにより、危険な気候変動を防ぎ、天然資源を尊重するグローバルなエコノミック・システムへと移行することを目指している

## CDPのビジョン

- 危険な気候変動を防ぎ、天然資源を守り、資産の効果的な分散を通じて長期的な繁栄を創造することを目指している。

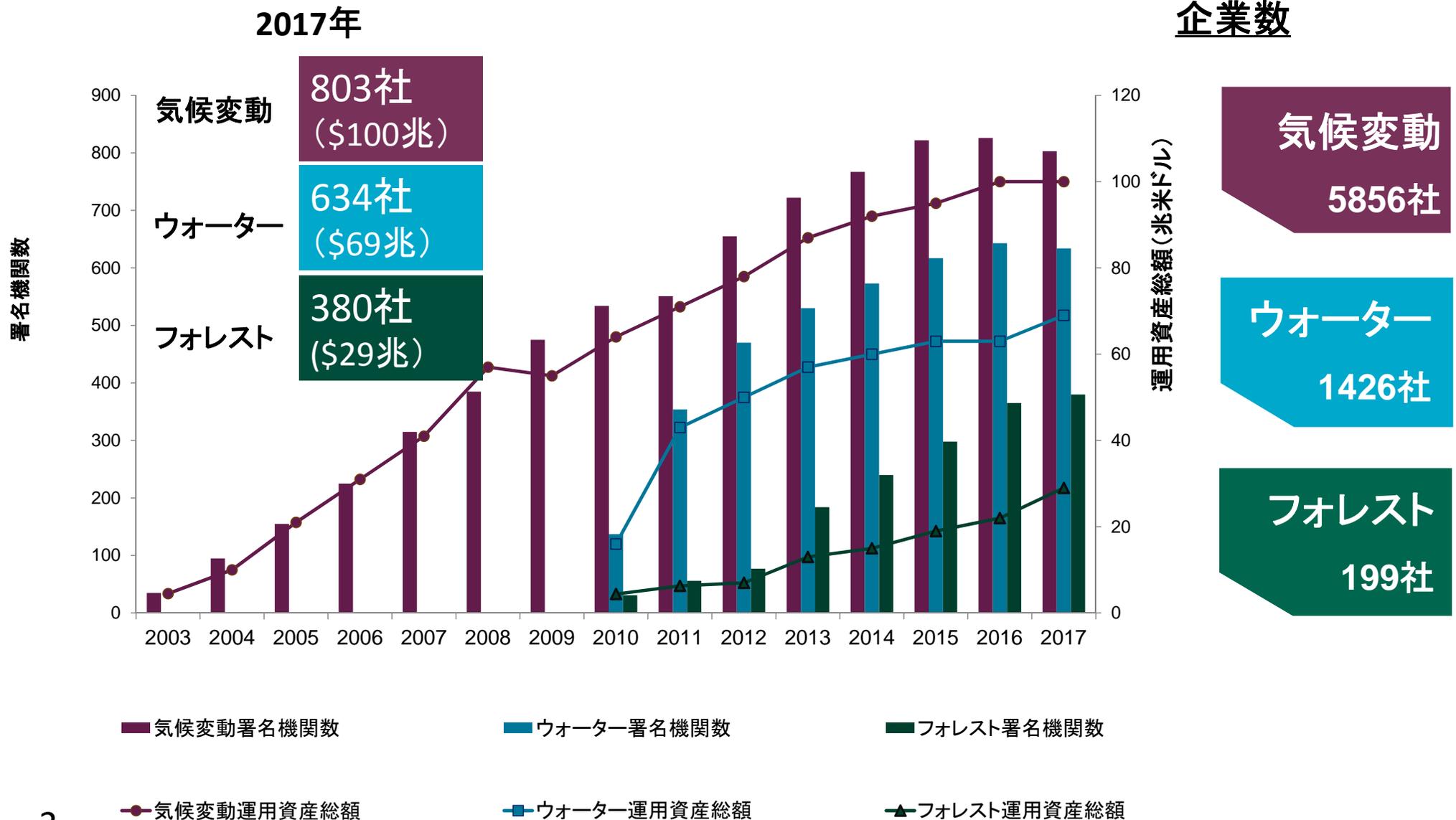


CDPは2000年にロンドンで設立したNPOで、グローバルに活動拠点を有する。（ロンドン、ベルリン、サンパウロ、ニューヨーク、東京、北京、香港、サンフランシスコ）

# CDP署名投資機関数とその運用資産額推移

CDP署名機関の推移

2016年全世界回答  
企業数

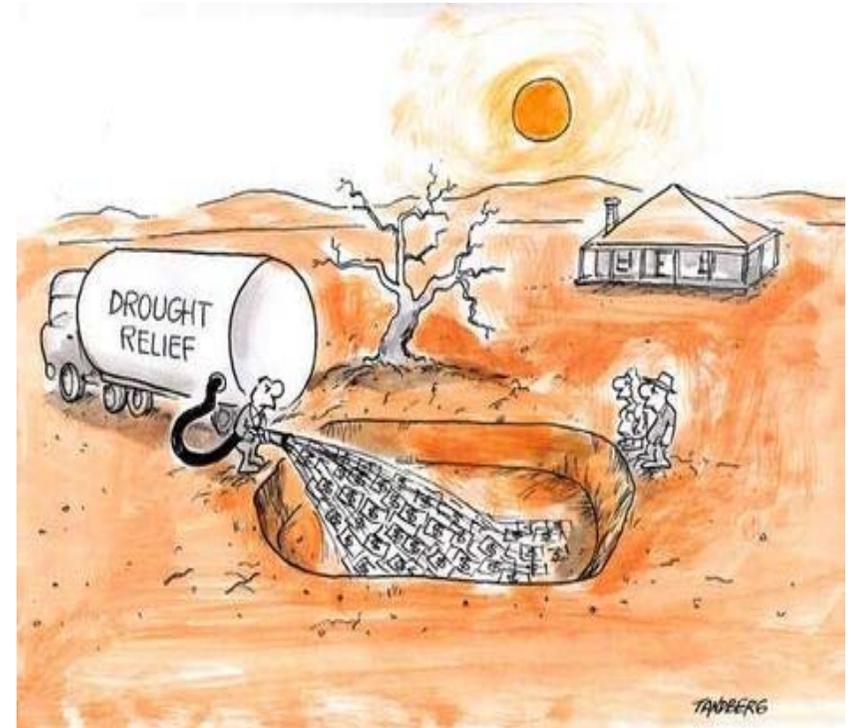


---

# CDPサプライチェーンプログラムについて

# サプライチェーンを取り巻くリスク

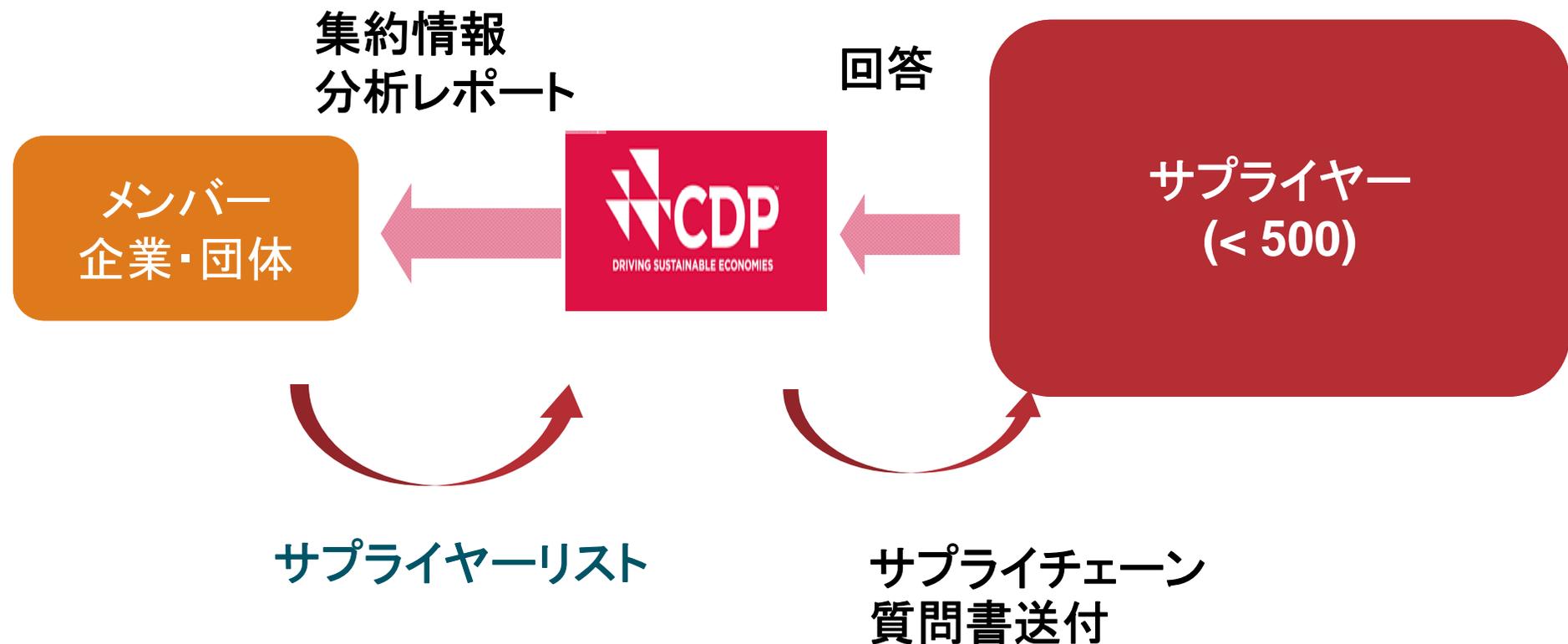
- ▼ **物理的リスク**; 潜在的サプライチェーン寸断リスク（気候変動、天災、人災、価格高騰、その他）
- ▼ **評判リスク**; 投資家・消費者の目、評判リスク・風評リスク（管理体制、S3開示も投資家評価対象）
- ▼ **規制リスク**; レギュレーション・コンプライアンス対応



**サステナブルなサプライチェーンの構築:**  
**実用的なサプライヤーエンゲージメントプログラムの必要性:**

- リスク認識と透明性の向上
- サプライヤーとバイヤーのコミュニケーションと相互理解
- サプライヤーとバイヤーのための協働機会の創出

# CDPサプライチェーンプログラムの仕組み



# サプライヤーとのコミュニケーション開始

サプライヤーの特定。サプライヤーへ連絡・確認



CDPへサプライヤーリストを提出(最大500社)



CDPで重複しているリクエストの調整・統合



CDP よりサプライヤーへ回答要請の送付。  
サプライヤーへの回答支援の実施



# サプライヤーの回答サポート

環境関連の報告にまだ慣れていないサプライヤーへは、CDPがメンバー企業と一体になって様々なサポートを提供して、メンバー企業の意向に沿った回答の回答率と回答内容の向上を進める。

- ▶ 回答ガイダンス(日本語を含む各国語あり)
- ▶ CDP スコアリングメソドロジー
- ▶ レポーティングロードマップ
- ▶ テクニカルガイダンス
- ▶ 電話サポート
- ▶ ワークショップ、ウェビナー、
- ▶ Emailサポート: [respond@cdp.net](mailto:respond@cdp.net)

世界80各国で使  
われている。



# サプライチェーン追加質問書の構成（気候変動と水）

サプライチェーン質問書		
	Climate change questions	Water questions
コアの質問内容	<p><b>マネジメント:</b> 戦略、目標、排出削減活動</p> <p><b>リスクと機会:</b> 規制、物質、その他</p> <p><b>排出に関する報告:</b> 排出削減方法およびデータ開示</p>	<p><b>現在の状況:</b> 成長戦略 &amp; 有害な影響</p> <p><b>リスク評価 &amp; 実践:</b> リスク評価、開示、機会</p> <p><b>水使用データ:</b> 取水量、排水量、水使用量、リサイクル水使用量</p> <p><b>対応:</b> ガバナンス、戦略、目標、イニシアチブ</p>
サプライチェーン追加質問	<p><b>顧客向け情報開示</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客別排出量の開示</li> <li>協働の機会</li> <li>アクション・エクステンジ</li> <li>プロダクト(製品 &amp; サービス)レベルのデータ</li> </ul>	<p><b>顧客向け情報開示</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客別リスクのある施設のハイライト</li> <li>協働の機会</li> <li>プロダクト(製品 &amp; サービス)に特化したデータ</li> </ul>

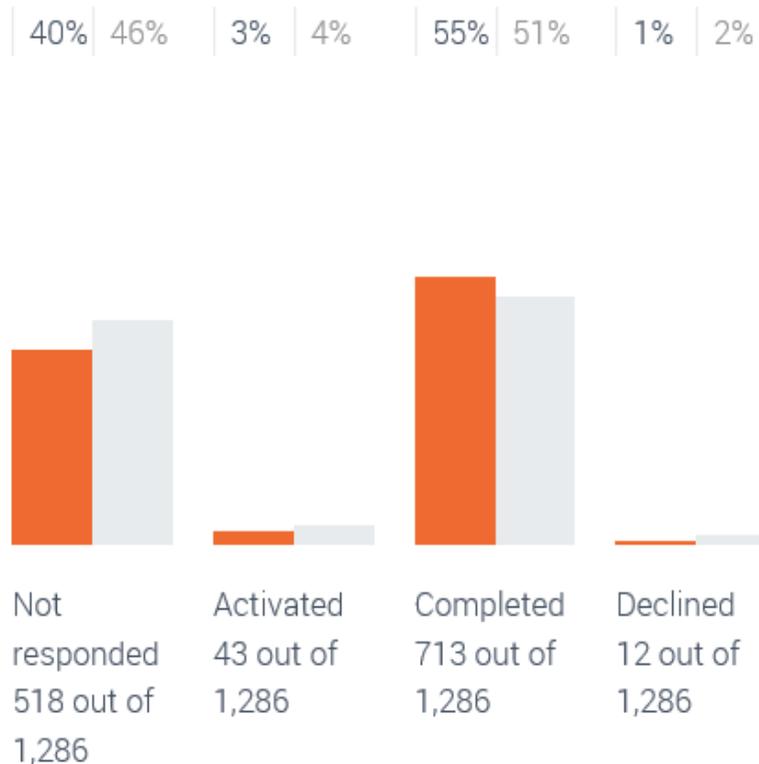
# 充実したシステムサポート・分析ツール

## ^ Track supplier progress

Track your suppliers progress towards disclosing here.

56th Your response rate ranking out of 75 members

1st Your supplier quantity ranking out of 75 members



レスポンス状況を追跡

レポート内容を確認

カスタムレポートでの、個別分析

回答内容は全てエクセルで分析可能

Track your supplier progress →

Your suppliers  
All suppliers

# CDPサプライチェーンが選ばれる背景

---

- ▼ 導入簡単, すでに世界で100社あまりが導入。分析ツールも完備。
- ▼ 標準化された質問への回答で、複数社へ回答を要請されているサプライヤーの回答負担を軽減。
- ▼ サプライヤーはCDPの各種サポートを受けられる。(Webinar, Workshop他)
- ▼ 投資家スキームですすでに実績と信頼がある質問内容

## サプライチェーン・マネージメントのメリット

---

追加質問書のアロケーション・製品別データを通じての、スコープ3・カテゴリー1の精度向上と削減促進。

協働の機会などのコミュニケーションを通じて、ビジネスリレーションを強め、サプライチェーン全体のリスク・マネージメントを強化。

開示と目標のシェアを通じて、サプライチェーン全体のエンゲージメントの向上。

リスク認識を高め、排出削減の機会に繋げる。排出削減はコスト削減となり、効率的な調達・運搬を実現。

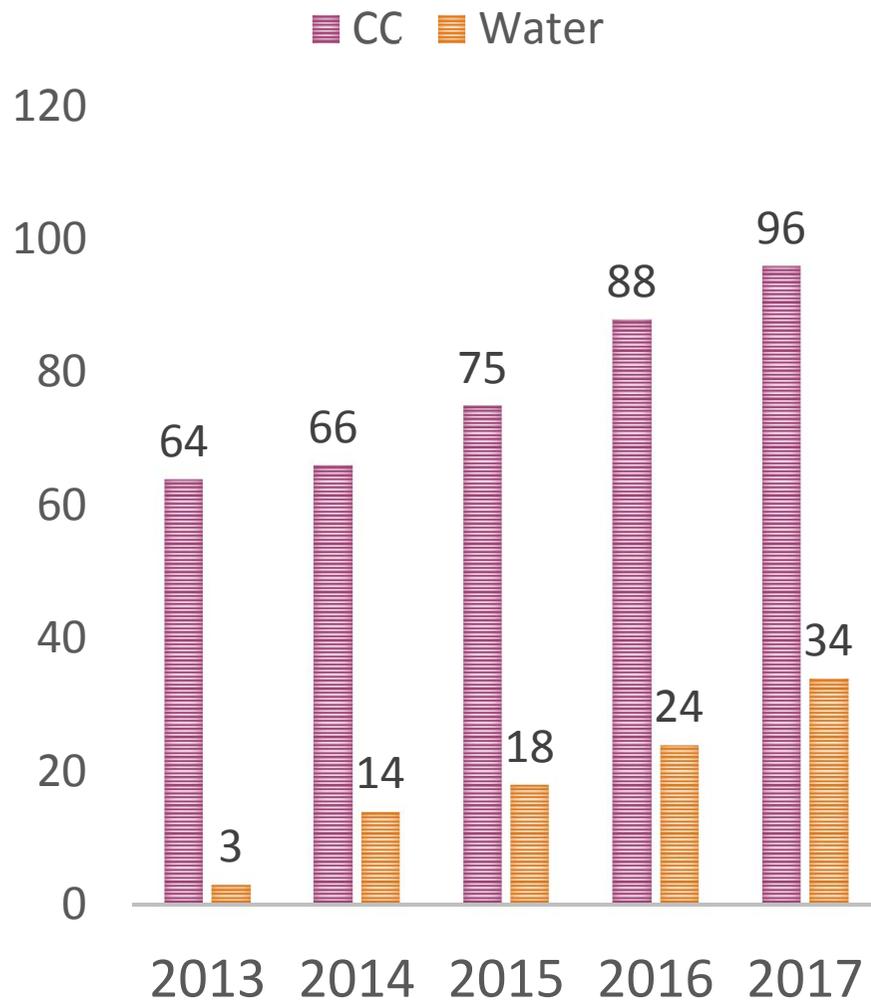
---

---

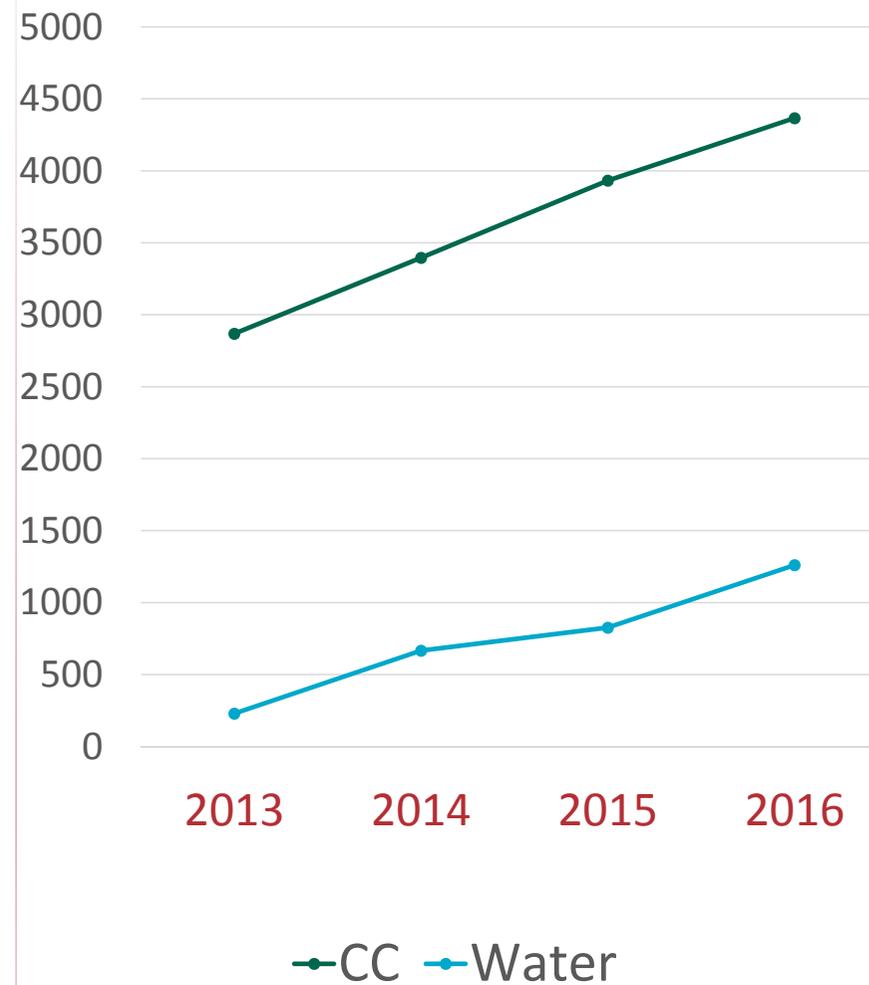
# CDPサプライチェーンのデータから

# CDPサプライチェーン メンバー数・サプライヤー回答数

## サプライチェーンメンバー数



## サプライヤー回答数



# サプライチェーン参加企業(気候変動 2017) 96社



# 回答依頼は民間企業からだけではない

---

## 政府や公的機関

---



ロサンゼルス郡  
都市圏交通局



米国政府  
一般調達局

カリフォルニア州  
調達局

## 業界団体

---



## NGO(シンクタンク)

---



# サプライチェーン参加企業（ウォーター 2017） 34社



## 国別サプライヤー回答数と回答率

	回答数	総数	回答率
Global	4370	8233	53%
U.S.A	1563	2502	62%
U.K.	322	458	70%
Germany	184	285	65%
Brazil	300	457	66%
India	64	103	62%
Mexico	126	226	56%
China	257	331	78%
Japan	383	500	77%

2016年データベースからの非公式数値

## 日本と中国のサプライヤーの回答率と回答数

### 日本のサプライヤー数と回答率推移

	回答数	総数	回答率
2014	247	326	76%
2015	339	442	77%
2016	383	500	77%
2017	xxx	550	xx%

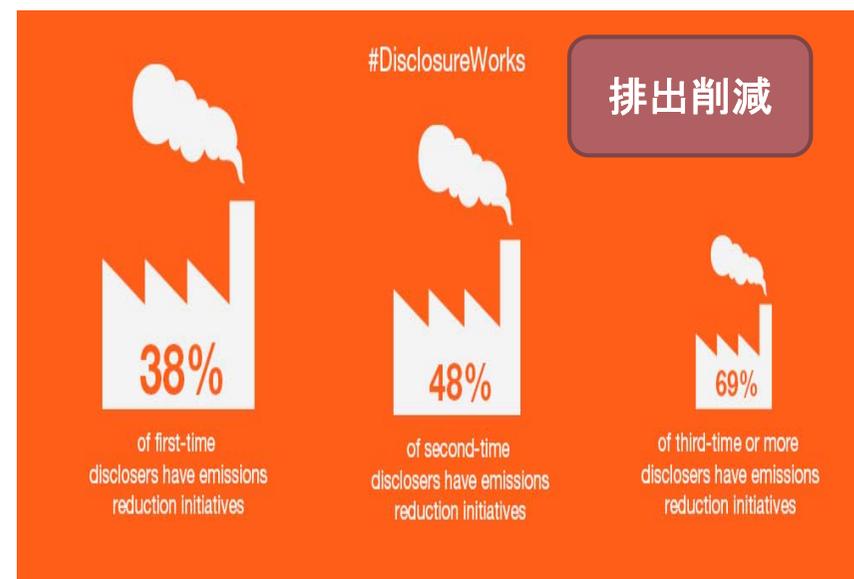
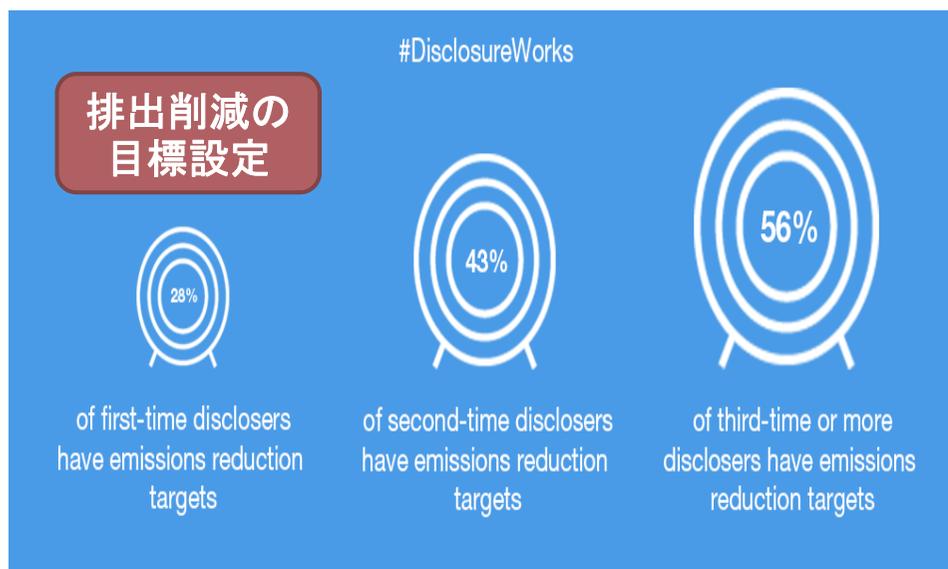
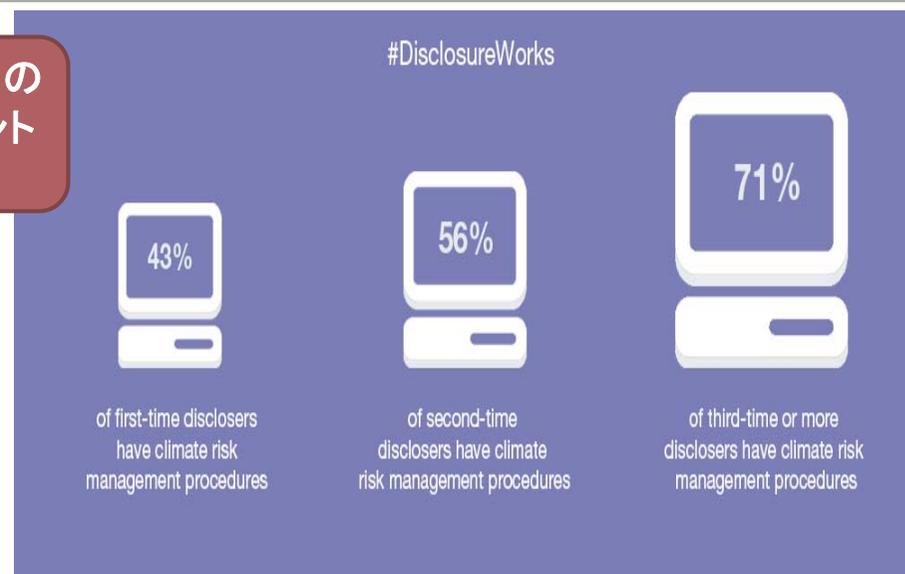
### 中国のサプライヤー数と回答率推移

	回答数	総数	回答率
2014	167	229	73%
2015	239	357	67%
2016	357	331	78%
2017	xxx	410	xx%

# 継続は力、環境への意識は開示と共に年々高まる

## 気候変動に対する リスクマネジメント の意識

## Disclosure works 開示1年目、2年目、3年目の推移



---

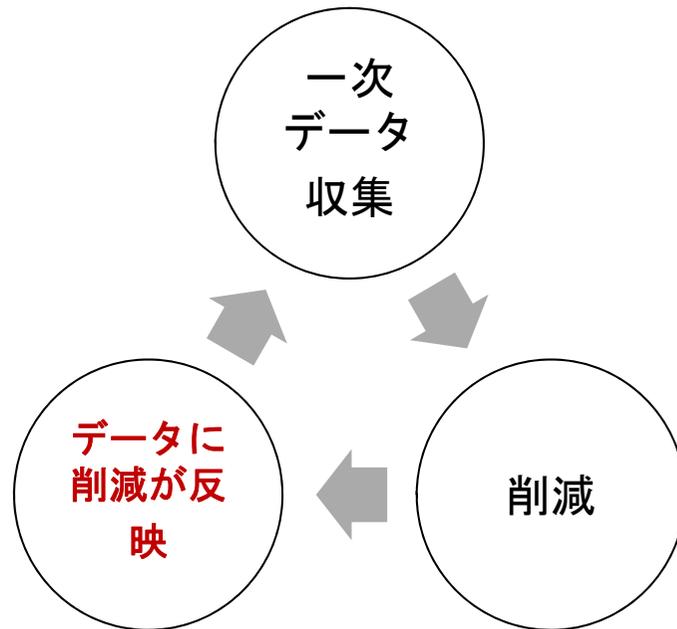
---

## サプライチェーン・メンバーからの要請

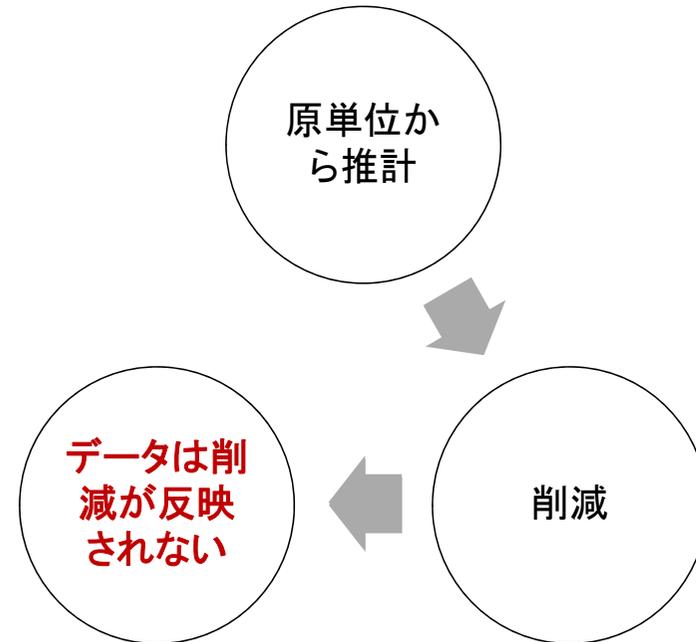
# 一時データ取得で精度向上と削減の実現

## 一次データを利用したScope3推計

▼一次データを利用した場合



▼原単位から推計した場合



サプライヤーから毎年更新される一次データを利用した場合、削減がデータに反映されます！

## サプライヤー目標設定の例 (1)

- ▼ 自社のスコープ3の排出削減だけでなく、サプライチェーンの取り組みについて意欲的な目標設定が出来る。



- ▼ 定量的な目標設定は、サプライヤーにとっても顧客にとってもわかりやすい。



▼▼  
2020年までに、CDPサプライチェーンプログラムを通して、自社の排出削減計画(1%Absolute)に即した削減目標をサプライヤーと共有し、それに基づく排出削減を求める。

▼▼  
トップサプライヤー100社に排出量と排出削減に関する情報開示を求める。

▼▼  
最も排出量の多い50サプライヤーに働きかけ、CDPをとおして排出量と削減目標について開示するよう求める。

## サプライヤー目標設定の例 (2)

**REXAM**

“2011年には、主要なサプライヤーの50%がCDPに回答した。2015年までに80%まで向上させることを目標としている。”

**NOKIA**

“トップ100サプライヤーが排出削減目標を報告し、CDPを通じて目標達成を開示することを目標としたい。”

**L'ORÉAL**

ロレアル社は、2020年までに直接利用している資材(原料、包装、契約製造者)の8割を占めるサプライヤーが、排出削減目標を保有し、削減の活動をCDPサプライチェーンプログラムを通じて報告することを目標とする。

**acer**

サプライヤーと協力し、サプライヤーの原単位を最低でも5%削減する

**Walmart**   
Save money. Live better.

“グローバルなサプライチェーンからのGHG排出を、2015年末までに2000万トン削減する。” *Project Gigaton*

**DELL**

CDPを通じて、スコープ1,2,3排出量を報告し、削減目標を公開、サプライヤーに報告要請をすること。水質問書に回答すること。これらに指定した基準を満たさない場合、取引を停止することもある。

## SBTにおけるスコープ3・目標設定の例

### Diageo

30% GHG reduction across total supply chain by 2020 from 2007 base year.

### General Mills

28% Scope 1, 2 and 3 emissions reduction across entire value chain (from farm to fork to landfill) by 2025 from 2010 base year.

### Nestle

8% reduction in Scope 3 emissions by 2020, from 2014 base-year.

### Farmer Bros Co.

Reduce Scope 3 emissions by 7% by 2025 and by 31% by 2050, from 2014 base year.

### Tesco

17% reduction in Scope 3 emissions by 2030, from 2015 base-year.

### Wal-Mart

Reduce upstream and downstream Scope 3 sources by 1bn tonnes by 2030, from a 2015 bas-year ('Project Gigaton').

### Kellogg Company

20% reduction of absolute value chain emissions (Scope 3) by 2030, from 2015 base year.

---

# 森林破壊に影響するコモディティの サプライチェーン管理

# 森林破壊

---

**15%** 世界のGHG排出の15%は森林破壊により発生。

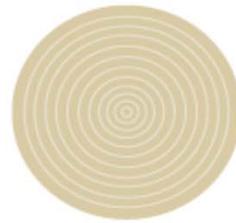
**80%** 世界の森林破壊の80%を説明する4つの要因。

- 1) 木材伐採、
- 2) 大豆畑、
- 3) パームオイルプランテーション、
- 4) 畜牛用牧場。



# 森林伐採リスク（CDP Forest Report 2016より）

- ▼ サプライチェーンにおけるリスクについて認識している企業割合
  - 75%の企業がなんらかのサプライチェーンにおけるリスクを認識している
  - パーム油、畜牛、大豆の規制によるリスクが過小評価されている可能性



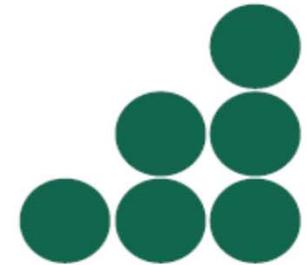
Timber



Palm oil



Cattle products



Soy

物理的リスク

53%

52%

41%

45%

評判リスク

53%

64%

47%

53%

規制による  
リスク

51%

40%

37%

32%

# サプライチェーンプログラム参加企業 森林 2017年



Firmenich



Johnson & Johnson



Klabin

L'ORÉAL



Restaurant  
Brands  
International